

中期経営計画<FORWARD 08> ～成長戦略の加速に向けたブラッシュアップ～

2007年5月10日

コニカミノルタホールディングス株式会社

代表執行役社長 太田義勝

● **本資料の記載情報**

本資料におきましては、四捨五入による億円単位で表示しております。

● **将来見通しに係わる記述についての注意事項**

本資料で記載されている業績予想、将来予想は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

<FORWARD 08>業績目標

当初計画を上回るスピードで計画達成に向けて進捗

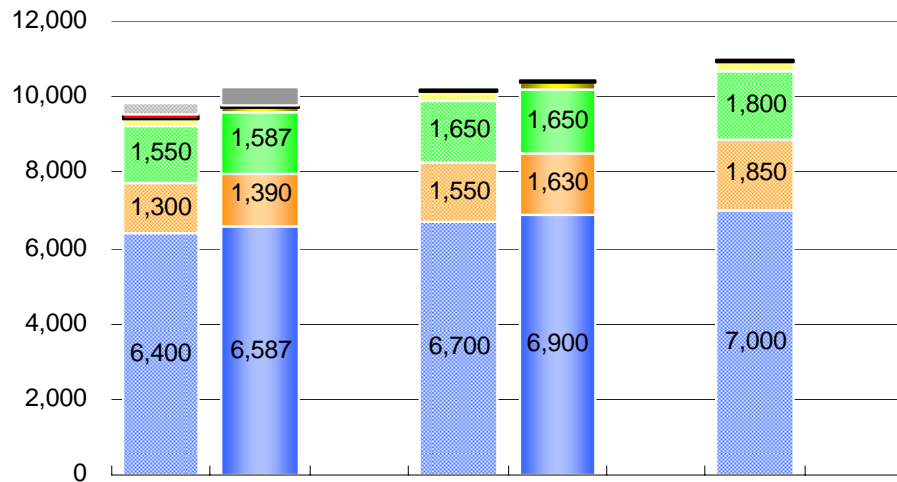
売上高

【億円】

9,800 → 10,276

10,200 → 10,450

11,000



中計 実績
06年度

中計 予想
07年度

中計
08年度

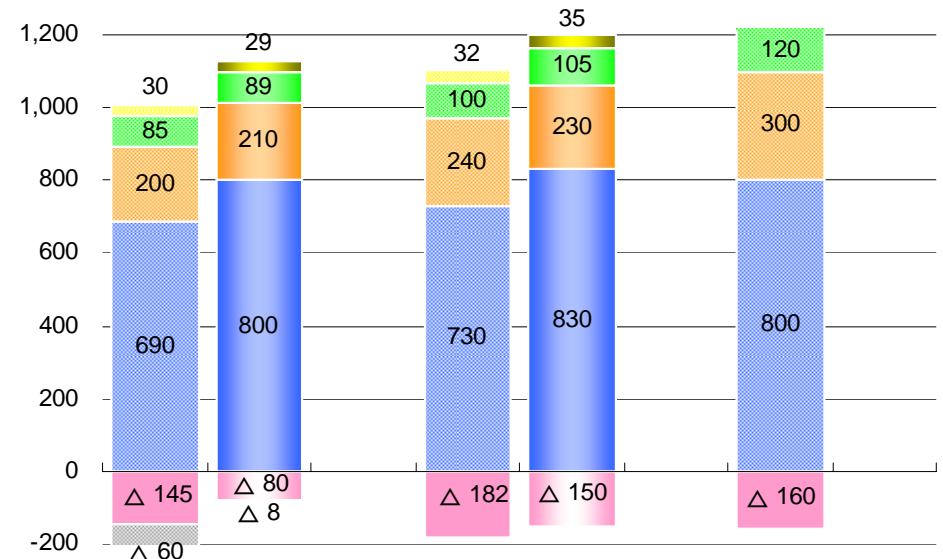
営業利益

【億円】

800 → 1,040

920 → 1,050

1,100



中計 実績
06年度

中計 予想
07年度

中計
08年度

事業セグメント:

情報機器

オプト

メディカル&
グラフィック

その他

HD消去

フォトイメージング



新たな事業付加価値を増大し、 グループ成長と企業価値の最大化を目指す

基本方針

- ▶ グループ総力を挙げての成長を図る
- ▶ 新たな企業イメージを構築する
- ▶ グローバルに通用するCSR経営を推進する

成長戦略

- ▶ コア事業の強化・進化
- ▶ コア事業周辺領域での業容拡大
- ▶ 将来事業の育成

体質強化

- ▶ 事業基盤の強化
- ▶ 財務体質の強化
- ▶ 人材強化と企業文化・風土改革

情報機器事業

一般オフィス

MFP : カラーでジャンルトップを走り続ける

プリンタ: 事業収益力の強化

プロダクション プリント

デジタル印刷分野の拡大

ソリューション

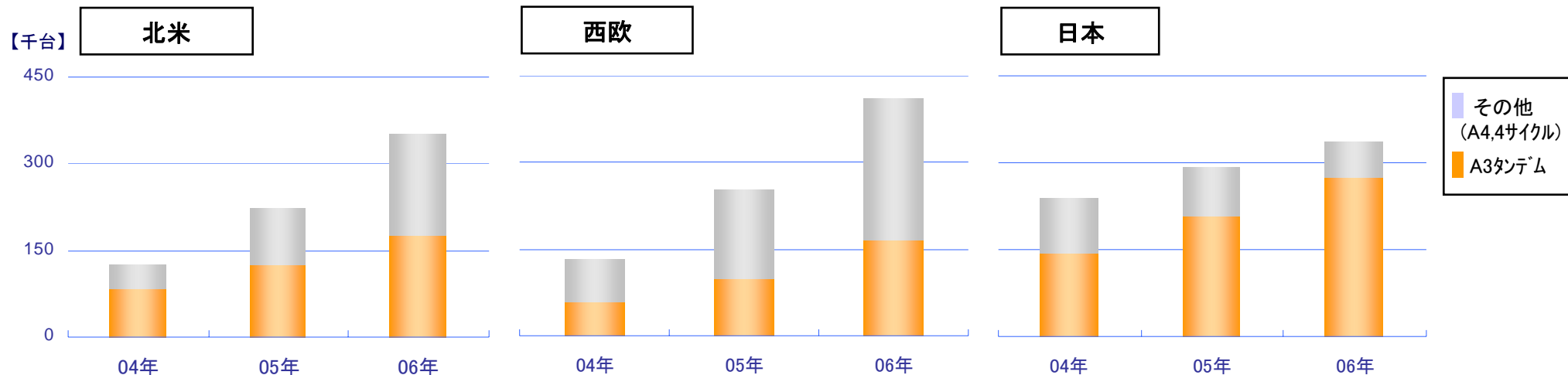
カラーに重点をおいたアプリケーション展開

<参考>日米欧市場におけるカラーMFPのシェア推移

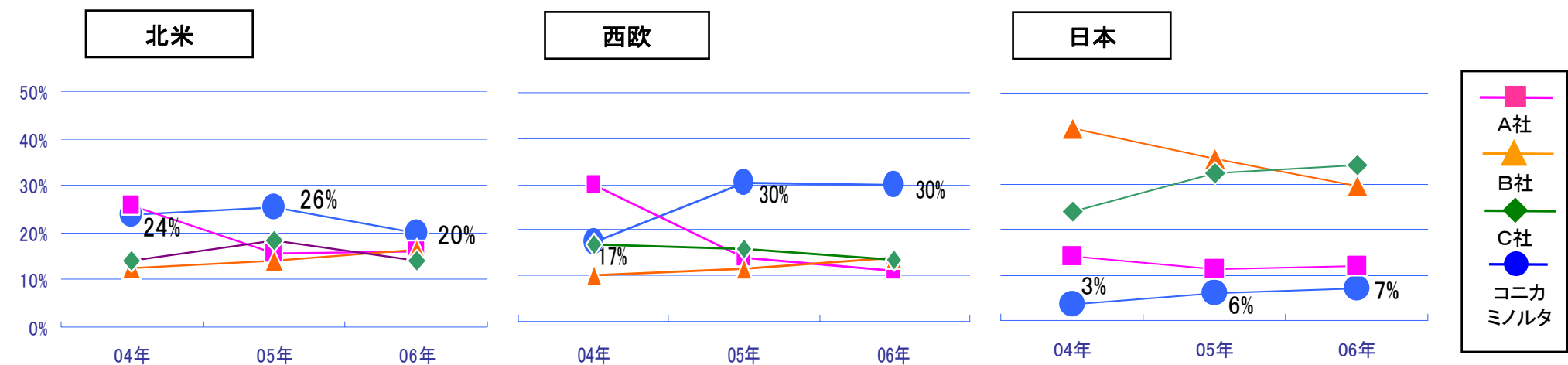


KONICA MINOLTA

カラーMFP市場構成の推移



A3タンデムカラー MFP市場における当社シェア



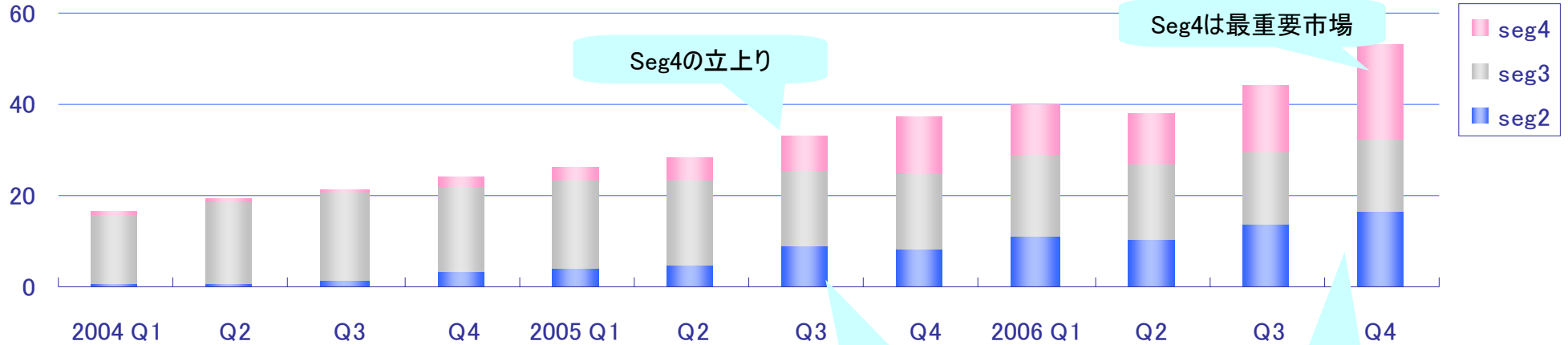
＜参考＞米国市場のカラーMFPセグメント別シェア推移



KONICA MINOLTA

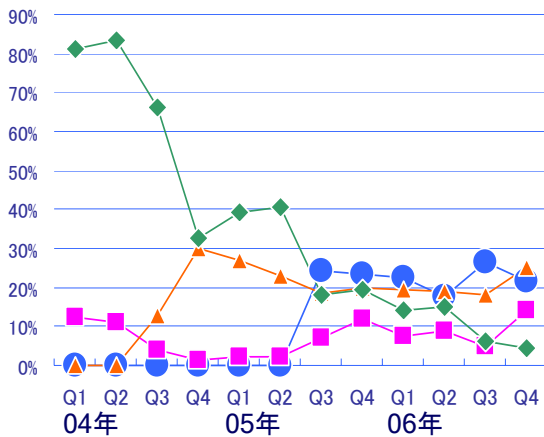
A3タンデムカラーMFP セグメント別推移

【千台】



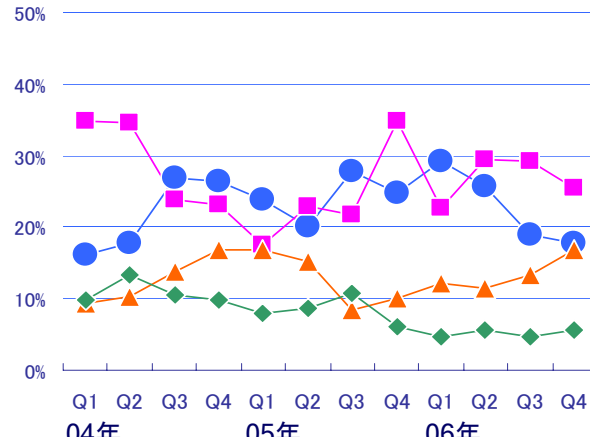
セグメント別当社シェア推移

Seg2



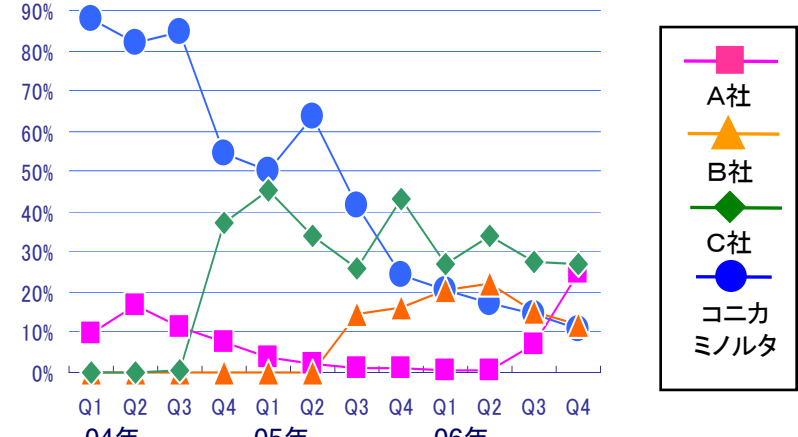
The essentials of imaging

Seg3



※自社データ、暦年ベース

Seg4



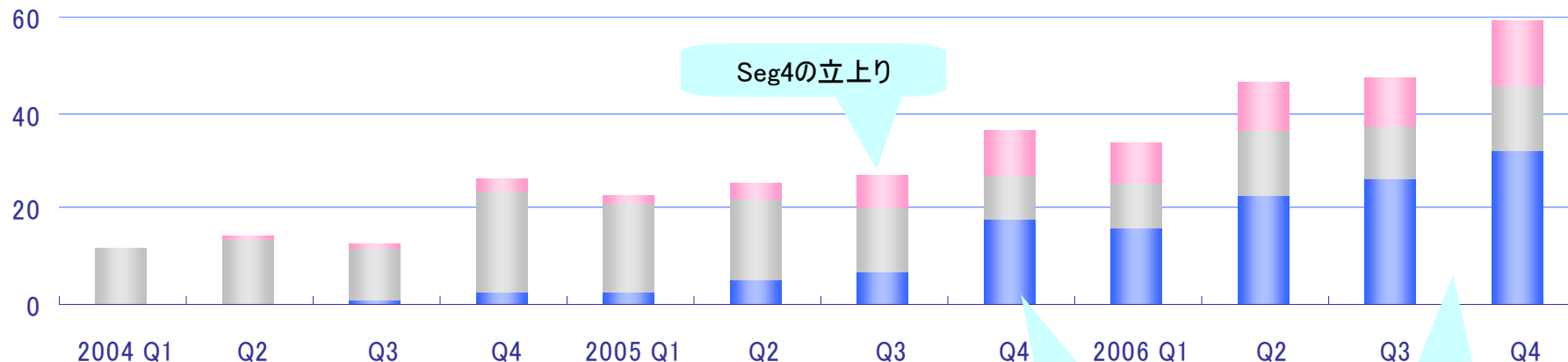
<参考>欧州市場のカラーMFPセグメント別シェア推移



KONICA MINOLTA

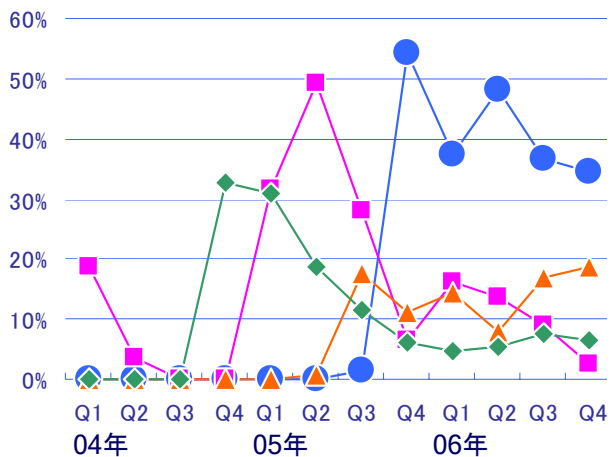
A3タンデムカラーMFP セグメント別推移

【千台】



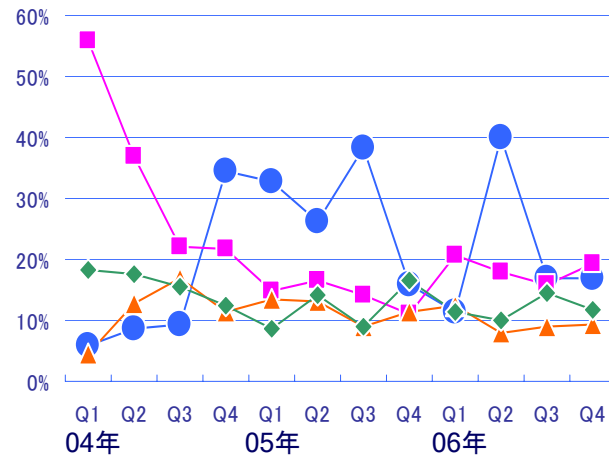
セグメント別当社シェア推移

Seg2



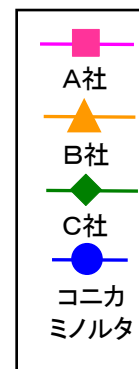
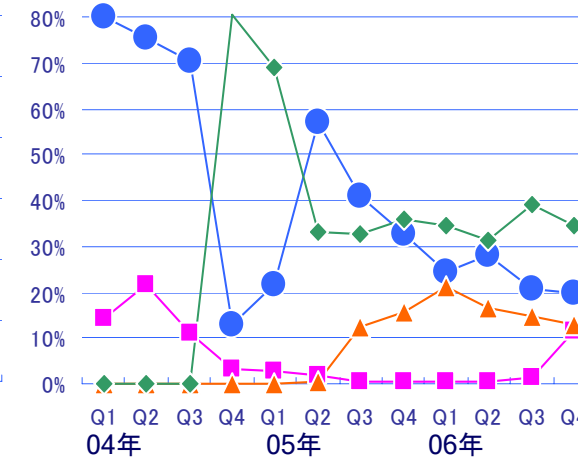
The essentials of imaging

Seg3



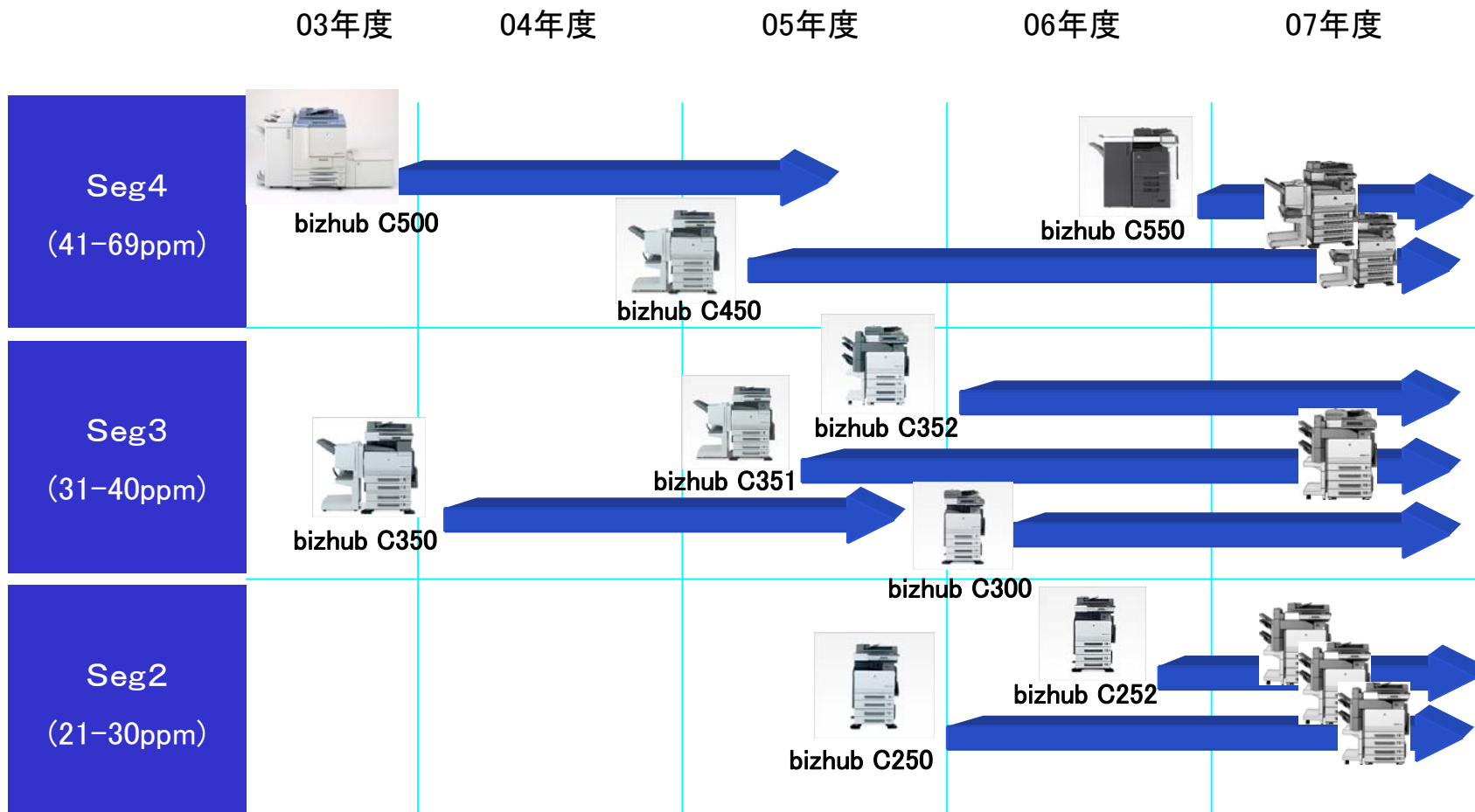
※自社データ、暦年ベース

Seg4



〈参考〉 当社オフィス向けカラーMFPのロードマップ

タンデムカラーに集中したラインアップ、07年度はSeg2/Seg4を重点強化



コア事業の強化・進化②

オプト事業

TACフィルム

高機能品によるLCD市場での事業拡大

光ピックアップ

次世代DVDでの圧倒的ポジション堅持

ガラスHD基板

海外生産展開による能力拡大

携帯電話用
マイクロカメラ

圧倒的なコスト競争力の確立

コア事業の強化・進化③



KONICA MINOLTA

メディカル&グラフィック事業

メディカル

開業医/海外向けの機器拡販強化

グラフィック

北米市場におけるCTP事業の早期確立

コア事業周辺領域での業容拡大

既存の事業基盤・技術リソースの展開により業容拡大

情報機器

サービス事業

- ▶ ITリモートケアサービス
- ▶ ドキュメントプロフェッショナルサービス

オプト

新機能性フィルム

次世代メモリー技術

メディカル

画像診断支援事業

将来事業の展開の核となるコア技術

有機エレクトロニクス技術

▶ 照明光源用有機EL部材分野

大気圧プラズマ技術

▶ 高強度製膜加工分野

μTAS(超微細加工)技術

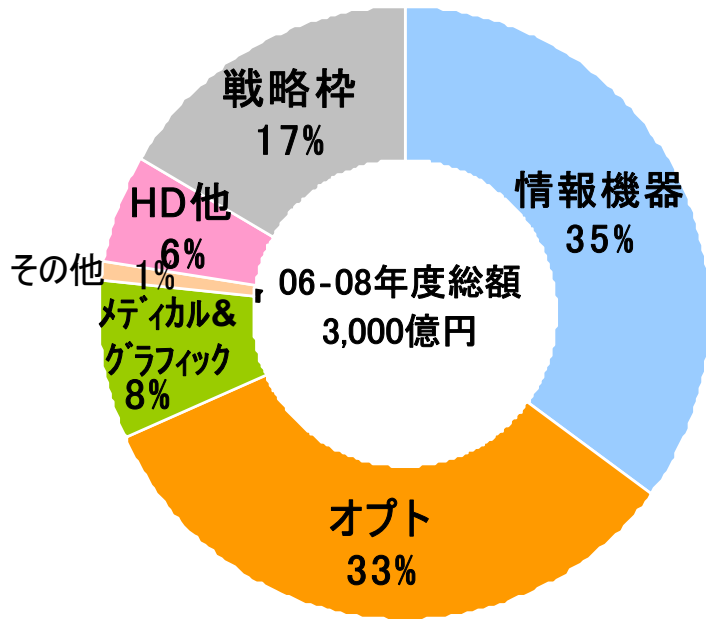
▶ メディカル新分野

スーパーインクジェット技術

▶ 産業用製造装置分野

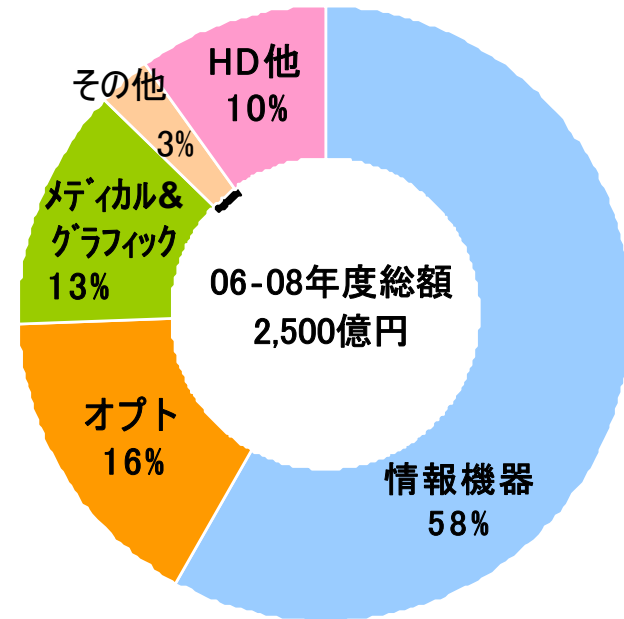
情報機器/オプトを中心に成長拡大に向けて積極的に投資

設備投資・投融資



06-08年度で総額3,000億円投資
(当初計画に対して700億円増額)

研究開発費



06-08年度で総額2,500億円投資
(売上高比8%の水準を確保)

成長戦略を支える企業体質強化

